

公開された祭礼武器類の薙刀と金銅装蛭巻薙刀拵など



文化審議会(馬淵明子会長)は、三月九日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、五件の美術工芸品を国宝に、同じく五十件を重要文化財に指定することにつき、林芳正文部科学大臣に答申した。このうち、栃木県・日光二荒山神社の所蔵品で、刻銘のある金銅装神輿三基・金銅装唐鞍三具とともに重文に指定された「祭礼武器類」が拵付きの薙刀五振。これは刀剣類の指定としては三十年ぶりのこととなり、関係者を喜ばせている。



重要文化財に指定された5振10点の祭礼武器類(栃木県提供)



日光二荒山神社が所蔵する薙刀の刀身と外装計10点が重要文化財(重文)指定を受けることになったのを記念し、同神社は23日までに、奥日光の同神社中宮宝物館で10点の初公開を始めた。文化庁によると、中世の制作当時の姿をとらえている薙刀は全国的にまれだという。展示は12月末まで。

### 日光二荒山神社

初公開されたのは、約30センチの刀身5点と、それぞれの柄とさやの外装5点。多くが13、14世紀に作られ、祭礼武器として奉納されたと思われる。宝物館1階で展示しており、光り輝く刀身や、金色の銅板をらせん状に巻いて装飾した柄などが目を引いている。国の文化審議会が3月に重文へ

【下野新聞】平成30年5月24日

## 刀剣で30年ぶりに重要文化財が誕生 日光二荒山神社の祭礼武器類(薙刀)5振10点

文化審議会(馬淵明子会長)は、三月九日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、五件の美術工芸品を国宝に、同じく五十件を重要文化財に指定することにつき、林芳正文部科学大臣に答申した。このうち、栃木県・日光二荒山神社の所蔵品で、刻銘のある金銅装神輿三基・金銅装唐鞍三具とともに重文に指定された「祭礼武器類」が拵付きの薙刀五振。これは刀剣類の指定としては三十年ぶりのこととなり、関係者を喜ばせている。

二荒山神社には、康成元年(二三八九)の銘により、南北朝時代の製作として昭和三十四年に重要文化財に指定されている金銅装神輿三基が伝来している。本件は、これらの神輿を中心とする祭礼に供奉したと思われる薙刀類で、鎌倉時代から南北朝時代初期における薙刀の刀身ならびに南北朝時代における外装(一部後補)が、それぞれほぼ揃いで伝存する。

入館と同時に、目に飛び込んできた見事な姿に、思わず感嘆の声を漏らしてしまいました。刀身の輝きと拵の精巧さも見事です。十三〜十四世紀に製作された、祭礼武器として奉納されたものとのことですが、保存状態はきわめて良好で、長い年月、大切に扱われてきたことがしのべられます。展示会場を何度も往復し、目に焼き付けて帰ってきました。

- ①薙刀 無銘 伝一文字 長さ六六・五cm 反り三・三cm
- ②薙刀 無銘 伝大和系 長さ六一・〇cm 反り五・〇cm
- ③薙刀 無銘 伝当麻 長さ三〇・二cm 反り一・四cm
- ④薙刀 無銘 伝法城寺 長さ五六・二cm 反り二・〇cm
- ⑤薙刀 無銘 伝宝寿 柄長一四八・九cm 長さ六七・九cm 反り四・八cm

日光二荒山神社中宮宝物館 二二 321-1661 栃木県日光市中宮 祠二四八四 ☎〇二八八五五〇〇 一七 <http://www.futarasan.jp/> (瀬下明)



2018.7.15 No.42  
発行人 清水 儀孝  
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
<http://www.zentosho.com/>

第42号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄  
伊波 賢一 大平 岳子 大平 将広 木村 義治  
佐藤 均 嶋田 伸夫 清水 儀孝 生野 正  
瀬下 明 土子 民夫 網取 讓一 土肥 富康  
服部 暁治 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏  
編集顧問/ 深海 信彦

資格認定事業担当 赤荻 稔 飯田 慶久  
伊波 賢一 大平 岳子 大西 康一 木村 義雄  
佐藤 均 猿田 慎男 嶋田 伸夫 清水 儀孝  
生野 正 瀬下 明 土子 民夫 網取 讓一  
土肥 豊久 服部 暁治 深海 信彦 冥賀 吉也

十年新指定国宝・重要文化財「展に引き続き、地元の日光二荒山神社中宮宝物館で公開されるというので、早速行ってきました(十二月末まで展示)。

- 金銅装蛭巻薙刀拵 総長二二八・五cm 柄長一五一・三cm
- ②薙刀 無銘 伝大和系 長さ六一・〇cm 反り五・〇cm
- 金銅装蛭巻薙刀拵 総長二二一・〇cm 柄長一四八・五cm
- ③薙刀 無銘 伝当麻 長さ三〇・二cm 反り一・四cm
- 金銅装蛭巻薙刀拵 総長一九五・〇cm 柄長一五五・五cm
- ④薙刀 無銘 伝法城寺 長さ五六・二cm 反り二・〇cm
- 金銅装黒漆薙刀拵 総長二〇五・〇cm 柄長一四八・九cm
- ⑤薙刀 無銘 伝宝寿 長さ六七・九cm 反り四・八cm
- 金銅装黒漆薙刀拵 総長二二八・〇cm 柄長一四九・四cm

刀剣・書画・骨董

# 和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511

<http://wakeidou.com/>

美術刀剣・刀装小道具商

# やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
年間10回位発行予定  
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-463-5310  
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式

# 柳匠堂

柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八  
TEL 〇八六一二二二二二二  
工房 岡山市北区磨屋町七二二  
TEL 〇八六一二二二二二二  
FAX 〇八六一二二二二二二

刀剣古美術

# 町田久雄

三峯美術店

埼玉県秩父市野坂町一十六一  
西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四一三三三〇六七  
FAX 〇四九四一三三三〇六七

美術刀剣、小道具、武具類の  
売買、加工及び御相談承ります

# 大阪刀剣会

# 吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一  
TEL 〇六一六六三一三二二〇  
FAX 〇六一六六四四一五四六四



# 第31回通常総会を開催

全国刀剣商業協同組合は去る五月十七日、東京美術倶楽部において第三十一回通常総会を開催しました。

定刻の午前十時、司会者の松本義行理事により出席状況の報告がありました。組合員総数百七十七名中、出席者六十九名、委任状提出者八十名、合計百四十九名で過半数に達するため、総会は成立することが告げられました。

服部暁治副理事長の開会の辞に引き続き、清水儀孝理事長より挨拶があり、総会出席の組合員の方々へ、日ごろの組合活動へのご理解とご協力を謝辞が述べられました。

続いて議長の選任を諮ったところ、議場より「司会者一任」との意見が多数あり、司会者が清水理事長の議長選任を諮ったところ、全員一致で承認可決しました。



第31回通常総会の審議風景

清水理事長は議長就任を受諾し、直ちに第一号議案から各議案の審議に入りました。

〈第一号議案〉平成二十九年事業報告承認、並びに平成二十九年会計報告承認、同監査報告

〈第二号議案〉平成三十年事業計画案

〈第三号議案〉平成三十年年度収支予算案

〈第四号議案〉役員報酬の件

〈第五号議案〉経費の賦課及び徴収に関する件

〈第六号議案〉平成二十九年年度借入金残高の最高限度に関する件

〈第七号議案〉一組合員に対する貸付け、または一組合員の為にする債務保証の最高限度に関する件

〈第八号議案〉その他

第八号議案においては、組合員より事前に提出されていた質問状の内容が議場に報告されました。これについては三十年年度の理事会の議案とすることが提案され、第八号議案は可決され、全ての議事は滞りなく終了しました。

最後に土肥豊久副理事長より閉会の辞が述べられ、散会となりました。また、厳しい経済情勢の中、組合員各位のご協力により、平成二十九年年度の収支は予算以上の成果を上げることができました。

(嶋田伸夫)

## NEWS & TOPICS

# 「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」が本格始動 刀博を視察し、文科大臣に伝統文化の保存振興策を提言

六月四日、刀剣博物館を「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の一行が視察に訪れました。見えたのは、甘利明共同代表世話人をはじめとする加盟議員、細田博之・竹下亘・武藤容治・山田賢司・青山繁晴・小川克巳・山田宏・長尾敬・三宅伸吾・高鳥修一の十一氏。文化庁から山崎秀保文化財部長・圓入由美美術学芸課長・福島俊輔美術学芸課企画係長の三名が同行されました。

公益財団法人日本美術刀剣保存協会では、酒井忠久会長・柴原勤専務理事・志塚徳行常務理事・福本富雄常務理事・秋田敏彰理事の役員のほか、飯田俊久事務局長ら全職員が訪問を歓迎し、館内の案内に当たりました。

「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」は、刀剣に関心を持つ



「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の皆さんと日刀保役員・職員

若者の増加や海外での人気の高まりが見られる一方、その製作や原材料である和鉄の生産を取り巻く環境が厳しさを増していることに鑑み、それらの伝統と文化を守り、振興を図っていくことを目指して、今年二月に発足しました。

この日は、三階展示室にて酒井会長が挨拶を述べた後、日本刀の鑑賞が行われました。国会議員の皆さんは学芸員の説明に熱心に聞き入りながら、名刀を手にとって鑑賞されていました。その後、バルコニーに出て眼下に広がる旧安田庭園を眺めいただきました。

また、二階の審査室で行っていた刀剣の鑑定作業も視察いただきました。そして一階の展示室に移動し、現在唯一操業している「日刀保たたら」について、現物やパネルを見ながら担当学芸員からの説明に耳を傾けられました。

最後に玄関で記念撮影をし、三時間余りの見学会は終了しました。私はこの日の取材で、われわれ刀剣商が気づかないところで国会議員の先生方が刀剣や和鉄の文化伝承に尽力されていること、また行政の面から文化庁の職員の間で刀剣を支えてくださっているのだということを知り、あらためて深く感謝の念を抱きました。

続いて六月二十二日、「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の皆さんは文部科学省を訪問し、林芳正文部科学大臣と宮田亮平文化庁長官に面会、林大臣に「刀剣・和鉄文化の保存振興に向けた要望」を提出されました。

そこには、次の五つの具体的な提言が示されています。

- ① 刀匠・刀職など、刀剣類の製作技術者の人材育成に努めること。
- ② 日本刀のブランディングを確立すること。
- ③ 刀剣関係団体による全国統一の公募展実施を目指し、必要な支援を行うこと。
- ④ 美術刀剣等を活用した地域振興・観光振興に資する企画展への支援を拡充すること。
- ⑤ 和鉄文化の保存振興のため、和釘の使用拡大に資する文化財建造物や美術工芸品の保存修理への支援の拡充、たたら製鉄への振興助成金の増額。

皆さまのご指摘には長年にわたる斯界の懸案事項も含まれ、今後、大きな成果につながっていくことが期待されます。(生野正)

# 「登録証問題」を考える 14

## 事例 23

この「登録証問題を考える」は平成二十七年三月に連載を開始した。欠かすことなく二年四月月続け、われわれ刀剣商が直面した現場の声、苦勞の数々を伝えていく。

法令順守という時代の流れで、刀剣を購入する顧客は今や当たり前前に所有者変更手続きを行う。従って、現在は刀剣売買において登録証の記載内容に相違はないか確認することが必要になっていく。刃切れなどの欠点のみでなく、登録証記載内容に相違があると所有者変更手続きに問題が生じ、返品になり得るためである。

実際問題として、記載内容が相違する事例数は刃切れの比ではなく実におびただしい。窮状を訴えるこの連載が、銃砲刀剣類登録証の業務に携わる各都道府県教育委員会担当者には善処を促す一助になっているとすればありがたく、そう感じる実例が増えている。

先日、銘文の「水田山城大塚源国重備中於松山作之」の「於」が登録証に記載漏れという一件があった。刃長・反り・目釘穴の数など他の記載事項に相違はなく、台帳は現物と一致しているため、現物と登録証の画像送付を求められた。その結果、登録証訂正の手続きが進められた。本件は、登録証作成時の事務的ミスである可能性がきわめて高いと判断したところである。

一方、銘文「備前国住長船清光天正七年二月日」の「長船」が記載漏れのケースでは、登録審査会での現物確認の指示を受けた。台帳と現物は一致しているとのこと

であるが、登録証の訂正には必ず現物確認を経ることが当該県の要件と説明があった。

同様に所有者変更届を出して、台帳と内容が相違しているため受理できないと言われる場合がある。そこで相違点を照会するが、教えてくれる都道府県と、具体的な内容には答えられないと言うところがある。何が相違しているのかわからなければ、先に述べた返品に相当するかどうかの判断もできない。なぜ相違点を伝えられないか、何を防止しようとしているのか、伝えられたことによるどんな都合があったのか、疑問を抱いてしまふ。

登録証は各都道府県教育委員会が独自の判断が行われている。そのため、対応には都道府県により温度差がある。登録証問題の窮状を理解するならば、厳格な対応を指示する都道府県の教育委員会は、登録審査会を経なければならぬ合理的な納得が得られる説明を果たしてほしい。

IT化の時代になって久しく、また社会全体のモラルが昭和のころとは比べられないほど高まった現在、昭和二十六年に始まって以来改定がなされていない登録証制度に、旧態依然として弊害が多いことは明らかである。

自動車業界においては昭和四十五年、それまで手書きであった車検証の業務電子情報処理システムを稼働させ、昭和五十四年に全国オンライン化を図った。そして不正の防止や効率化が格段に進められたという。われわれ刀剣界も、抜本的な登録証の制度改革が行われなければならない時期に達している。(登録証問題研究会)





# 風向計

其之二十七

深海 信彦

去る五月十七日の組合総会後に  
行われた「刀剣評価鑑定士」の模  
擬テストを受けてみた。

刀剣評価鑑定士の資格を取得す  
るための刀剣商としての知識は十  
分身に付けているつもりであり、  
永年この世界で生きてきて、商  
売に必要なら古物営業法や銃刀法  
はしっかりと理解しているという  
自負もあった。また、刀剣・刀  
装具・甲冑の専門分野は勿論のこと、  
作刀・研磨・白鞘・鍔等はそ  
れ相応に知っていなければ商売に  
はならず、刀剣を評価・鑑定・査  
定する上で知らないことなどある  
はずはないという考えで受験に臨  
んだ。しかも筆者は、刀剣評価鑑  
定士の資格認定制度の会議や、問  
題集の作成、一〇〇〇を超える想  
定問題から取捨選択等出題に関す  
る検討会議には欠かさず出席して  
おり、出題される問題に関しては  
知悉しているはずであった。

ところが、結果は九四点であ

り、不正解が六問もあったのだ。  
試験は厳正で、試験問題を配られ  
て一時間以内での解答。やはり  
「試験」と名の付くものは何でも  
緊張するものであった。

【問1】から順番に二者択一の  
形で解答欄に答えを記入していく  
のであるが、お馴染みの問題であ  
るはずなのに解答に迷い、一〇〇  
問をやり終えた時は二十分以上を  
経過し、見直しを含めると三分  
は優に超えていた。そして何度も  
見直したにもかかわらず、六問も  
間違っていた。この日の最高得点  
は、女性組合員で九九点と聞き  
全く恐れ入った次第である。

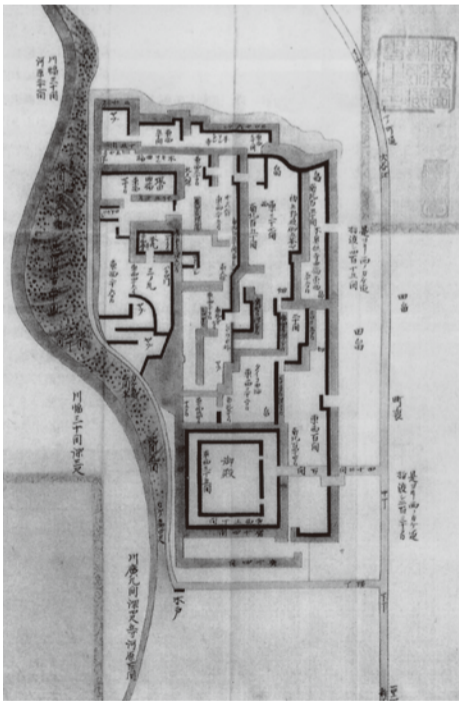
出題された一〇〇問は五月十五  
日発行の本紙第四十一号に全問掲  
載されているので、こちらを参照  
していただくと、不正解を振り  
返ってみると、【問9】火縄銃  
を輸出する場合の手続きは、文化  
庁の古美術品輸出鑑定証明のほか  
に、経済産業省の輸出許可取得  
する必要があるのに、文化庁  
の輸出鑑定証明のみで足りる  
と答えてしまった。自ら火縄  
銃を輸出したことはない身に  
とっては知らないことであっ  
た。しかし、知らないのでは済  
まされないのが法律であり、  
自分とは直接関係のないこと  
でも知っているということ  
が、他人の物を評価鑑定する  
鑑定士として大切なことでも  
あろう。

【問13】品触れを受けた時  
は、品触れの到着した日を記  
載しその日から六カ月間はこ  
の品触れを保存しておくかな  
ければならない。しかし筆者  
は一カ月と答えてしまった。  
「品触れ」とは、国語辞典に

も出てこない警察用語であり、警  
察が必要であると認めるときに古  
物商や古物市場主に対して、盗品  
その他の財産に対する罪に当たる  
行為によって領得されたもの(つ  
まり盗品)の手配書きである。こ  
の品触れには盗品の形、寸法、場  
合によっては写真などが載せられ  
ており、盗品等の古物市場への流  
入を防ぎ、被害者への回復を容易  
にするために設けられている制度  
である。因みに、万一その品物を  
所持していた時は、その旨を直ち  
に警察官に届けなければならぬ。  
そしてさらに、【問19】にある  
ように、一般の人から入手した場  
合で被害者が返還請求してきた  
ら、盗まれたり遺失した日から二  
年以内であれば無償、つまり、た  
とえ自分はお金を出して正しく購  
入したものであっても、無条件で  
返還しなければならぬと定めら  
れている。不正解のうちの残り四  
問は、いずれも数字に関わる問題  
で、記憶力の低下を自ら認めざる  
を得ないと同時に、知っているこ  
いことは法律的にははななくとも  
日常の営業の中で必須のことであ  
り、この点も受験に取り組むこと  
の大きな意義であると感した。

【問20】古物台帳の保存義務期  
間は三年であるのを、最終記録か  
ら五年と答えたこと。【問91】平  
成二十九年一月現在、重要文化財  
に指定されている刀剣・刀装具類  
の合計は七八七点であるのに、一  
二〇〇と答えた。なお、平成三十  
年三月に、日光市の二荒山神社の  
薙刀と拵の五点が重要文化財に指  
定されたので、現在は七九二点と  
なった。【問92】重要美術品に認  
定されている刀剣類は九九九点で  
あるのに、二〇〇〇点と答えたこ  
と。【問93】平成二十八年一月時  
点で、重要刀剣に指定されている  
のは一万一五七一点であるのに、  
二万五三四一点と答えたこと。一  
〇〇点満点で八〇点以上が合格ラ

インとは言え、刀剣商として知ら  
ないことはほとんどないという筆  
者の自信は大きく揺らいだ。  
問題は今後、さまざまな切り口  
から出題されるであろうが、今回  
の一〇〇問を通観するに、①知っ  
ていて当然、知らなければ話にな  
らないこと。②知っていないこと  
も状況に応じて人に聞いたり調べた  
りすれば事足りること。③知らな  
くとも商売上何の不自由もないこ  
と。④初めて目にする問題で、世  
の中が変わっていることを実感さ  
せられること。⑤そんなことほど  
うでもよいと思われること、等が  
入り混じった広範囲の知識を必要  
とするものであった。  
今までは、われわれは自分のた  
めだけに商売をしてきたし、自分  
の能力の範囲内の品物を扱ってき  
たが、果たして他人の財産を評  
価・査定する勉強をしてきたであ  
ろうか。運転免許は、自分も他人  
も危険な目に遭わないためのもの  
であり、医師免許や弁護士、理容  
師、はり指圧等の資格は他人の生  
命や財産に悪影響を及ぼさないた  
めのものであろう。われわれも、  
他人の財産に関わることに従事す  
るからには、それなりの知識と資  
格が求められるのは当然であろう。  
先に述べた①②③④⑤のような  
例は、どのような国家試験や資格  
試験にも出てくる設問である。そ  
して、それらに対しても真摯に取  
り組んだ者だけに資格は授与され  
るのである。試験問題は、常時十  
人を超える委員によって一年半近  
くも試行錯誤が繰り返されてきた  
ことの結晶でもある。さらに改良  
して理想の形に近づけ、実施に結  
び付けるはずである。組合員が全  
員の資格を得るころには、業界  
の質は向上し、社会からの認知度  
も一段と高まることであろう。  
筆者も、次回の全問正解を目指  
して、早速予習に取り掛かること  
しよう。



絵図からも壮大な規模がうかがえる

現在は公園として整備された祇園城跡

平成二十五年の本紙第十二号に  
当地での「小山評定」を書かせて  
いただきましたが、今回はその続  
編として祇園城を取り上げます。  
小山市は宇都宮市に次ぐ県内第  
二の都市で、七カ所もの国指定史  
跡のある歴史の町でもあります。  
祇園城跡は市のほぼ中央に位置す  
る、中世小山氏の居城跡です。  
その名は京都の祇園牛頭天王社  
(八坂神社)を勧請し、城内に祀っ  
たこと由来すると言われます。  
思川左岸台地上に、東西約五〇〇  
メートル、南北約二二〇メートル  
の規模を誇ります。  
城を築いたのは藤原秀郷とも小  
山政光とも言われ、「小山義政の  
乱」(一三八〇)の際に初めて文  
献に現れ、その後、小山氏の本拠  
に定まったようです。  
「永享の乱」(一四三八)や「結城  
合戦」(一四四〇)  
など、度重なる  
攻防戦を経て拡  
張・整備が行わ  
れ、戦国の動乱  
が本格化した十  
六世紀中ごろに  
は上杉氏や北条  
氏の来攻に備え  
て、防備の強化  
が図られました。しかし、祇園城  
は天正四年(一五七六)に北条氏に  
攻略され、その北条氏も同十八年  
に豊臣秀吉に滅ぼされ、小山氏も  
全領が没収されてしまいました。  
江戸幕府成立後の慶長十三年  
(一六〇八)ごろ、徳川の重臣本  
多正純が三万三千石をもって小山  
に封ぜられ、祇園城を居城としま  
すが、元和五年(一六一九)に宇  
都宮に転封となり、祇園城は歴史  
の幕を閉じます。  
祇園城の南には後に、徳川将軍  
家が日光社参りに赴く際の休憩施設  
「小山御殿」が設けられます。そ  
こは、関ヶ原の戦の直前に開かれ  
た「小山評定」の吉例に倣った場  
所とも言われています。  
小山は新幹線で東京から約四〇  
分の所です。休日の歴史散策にせ  
ひお越しください。

ふるさと自慢 第22回  
●栃木県小山市・祇園城  
戦国の動乱が築き上げた  
古城址を歩く  
瀬下 明

刀剣・小道具・甲冑武具  
目白 飯田高遠堂  
代表取締役 飯田慶雄  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615  
http://www.iidakoendo.com

(株)美術刀剣松本  
松本 富夫 義行  
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950  
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑  
日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.  
(株)日本刀剣  
伊波賢一 Ken-ichi Inami  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座日本刀ミュージアム  
泰文堂  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16  
岩月ビル2階  
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏  
TEL 03-3289-1366  
FAX 03-3289-1367  
http://www.taibundo.com

刀剣 高吉  
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!  
連絡先 090-8845-2222  
代表者 高島吉童  
東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116  
www.premi.co.jp



## NEWS & TOPICS

### 「日本刀名匠」認定制度がスタート

公益財団法人日本刀文化振興協会

公益財団法人日本刀文化振興協会では五月二十六日、「第九回新作日本刀研磨外装刀職技術展覧会」の授賞式を挙げることに、平成三十年度「日本刀名匠」認定書授与式を執り行い、柳井俊二会長より初めての認定者となる栄えある十八名に対し認定証が授与されました。

#### 「日本刀名匠」の称号誕生の経緯について

全国で四番目、刀剣界としては初の公益財団法人に認定された当協会では、発足当初より、既に卓越した技量と作品実績を持った刀職者に対しての処遇について検討してはどうかなどの議論がありました。まずは「新作日本刀研磨外装刀職技術展覧会」の開催など十分な実績を積んだ上で、より良い制度を作っていくこと、この方針を立てました。この間、関係官庁ほか、各関係者にヒアリングを行い「せっかくなので新しい団体を作ったのだから、一般の方にも理解



最初の「日本刀名匠」に認定された皆さん（4名不在）

しやすい名称を考え、処遇としてはどうか」などの声も頂き、またアンケート調査を行い「認定についての素案策定委員会」を立ち上げ、理事会などで時間をかけて検討してまいりました。

その結果、同展覧会も第九回開催を迎えるまでになり、機も熟したと判断し、主催コンクールでは審査の対象外とする処遇で、新しく「日本刀名匠」認定制度を作りました。日本刀名匠の後に作刀・刀身彫刻、研磨、刀装具（鐔・小道具、白銀、鞘（白鞘・拵下地・拵）、柄巻、鞘塗の各分野を記載することにより、具体的な専門分野もわかるようにいたしました。「現代版刀職者マイスター」とも言える名工認定の位置づけであります。

認定制度を設計するに当たり、特に留意した点は、

- ・ 刀剣界以外でもわかりやすく、広く国内外でも通用する称号にすること
- ・ 刀職者の「名工の証」であるということがわかる表記にすること
- ・ 英語表記を加えることにより海外の刀剣ファンにも通じる表記にすること
- ・ 認定規定に基づき正しい手続きの下、当代トップクラスの刀職者として認定すること
- ・ 認定者の賞歴・プロフィールなどをホームページで順次公開すること
- ・ これからの刀職者にとって目標となる位置づけにすること
- ・ などでありました。

以上を課題とし、格調が高く明らかに日本刀と関係があり、刀職者の中でも職

種がわかる名称として「日本刀名匠」という称号にいたしました。例えば「日本刀名匠（作刀）」は英語表記で「Certified Master Japanese Swordsmith」です。非常に明快です。

このように「日本刀名匠」の決定には時間も要しましたが、協会発足後、この十年のさまざまな思いが込められており、次代を担う刀職者にとって目標となる素晴らしい名称が誕生したと思っております。

「日本刀名匠」は公益財団法人日本刀文化振興協会が関係官庁の後援を受けた過去の賞歴を基準に称号として授与するもので、既述の通り、認定者の賞歴・プロフィールと規定を明確にホームページ上で公開してまいります。新しい名称が認知されるまでは時間がかかるとは思いますが、認定書授与後のSNSでの反応は非常に好印象でした。

次代を担う刀職者にとりまして新たな目標となり、その結果、刀職技術が向上することは刀剣愛好者の目を惹きつけることにもなり、刀剣界にとって非常に良いことだと考えます。皆さま方には今後とも厳しく、また励ましの思いで見守っていただきたく存じます。

平成三十年度「日本刀名匠」認定者（敬称略・五十音順）

作刀分野：月山清、川崎仁史、吉川三男、吉原莊二、三上孝徳、宮入恵

研磨分野：阿部一紀、佐々木卓史、高岩節夫、眞鍋謙次、吉田秀雄

白銀分野：宮下武、宮島宏

鞘分野：剣持直利、高山一之、森雅晴、森隆浩

柄巻分野：岡部久男

## NEWS & TOPICS

### 全美連総会開催される

五月二十九日、一般社団法人全

国美術商連合会（浅木正勝会長、以下全連）の総会が東京美術倶楽部で開催された。

二〇一八年三月現在で約一千七百名の会員を擁する同会は、五都（東京・大阪・京都・名古屋・金沢）の美術倶楽部、同じく五都の美術商協同組合、現代美術・版画・洋画・浮世絵・古書・刀剣の幹部二十六名の理事で構成され、美術商のための、またその発展を通じて日本の文化芸術を振興していくための組織である。

総会では決算・予算の決議、現

五月二十九日、一般社団法人全美術商連合会（浅木正勝会長、以下全連）の総会が東京美術倶楽部で開催された。

二〇一八年三月現在で約一千七百名の会員を擁する同会は、五都（東京・大阪・京都・名古屋・金沢）の美術倶楽部、同じく五都の美術商協同組合、現代美術・版画・洋画・浮世絵・古書・刀剣の幹部二十六名の理事で構成され、美術商のための、またその発展を通じて日本の文化芸術を振興していくための組織である。

総会では決算・予算の決議、現



### 日本刀と腕時計

高島吉童（刀剣高吉）

時計と日本刀は一見、真逆の品物と考えてしまいがちですが、最近の時計を取り巻く諸事情を見ると、とてもよく似た性質があり、共通点も多いことがわかります。

言うまでもなく、日本刀の歴史は古く、平安時代中期以降に美しい太刀姿を確立し、その後数々の名刀を輩出し現在に至っています。その愛好者は根強く、また幅広く、居合刀から数千万円もする古名刀まで、それぞれ好みの日本刀を探し求めています。

時計（機械式）に関しては、古くは室町時代までのわが国の歴史の中で、時を刻むものとして大切にされてきました。

現在の腕時計が完成したのは一九〇〇年代になってからですが、なぜか一九二〇年代から一九七〇年ごろまでの製品をアンティーク物と呼び、世界各地で一大ブームとなっています。

古い腕時計と言え、今を去る



IWJGのショー風景

刀剣の愛好者にも時計好きの方はたくさんいます。私も好きでコレクションをしています。代表的なブランドで言えば、ロレックス、パテック、IWC、バセロンなど



【全美連ニュースレター】創刊号



全美連ウェブサイト

ればならない。会員の義務も継続されることが肝要である。

全美連では、基本方針や活動内容の周知、美術業界を取り巻く諸環境の広報のため、本年『全美連ニュースレター』を創刊した。会員登録済みの方には既にお手元に届いていることであろう。

この広報誌は、形は違いますが私

ちの「刀剣界」の有用性が刊行動機の一助となったようだ。第二号がこの夏に刊行される。双方ともに地道な広報ツールとして、継続されると良いと思う。（伊波賢一）

【問い合わせ先】

全国美術商連合会事務局  
〇三三四三二〇一九一  
(東京美術倶楽部内)



ポール・ニューマン・モデル(左)とパテック

といったところでしょうか。

ステンレス製のスポーツモデル、例えば手巻のデイトナ、その中でもポール・ニューマン・モデルと称する、文字盤が白黒であっさりとしたデザインで、ハリウッドスターだったポール・ニューマンが腕にしていたと言われるモデルなどは、とてつもない高値で取引されています。

刀は保存刀剣、特別保存刀剣

そこから重要刀剣、さらに特別重要刀剣と段階を踏んでいける出世していくと、取引される値段も上がっていきます。時計には等級を表す証書はありませんが、間違いなく出世していくブランドは存在します。

私自身両方の業者という位置にいて、とてもよく似た性質を持った特殊な業界であると思います。研磨をし、またオーバホールすれば美しく蘇り、ちゃんと手入れをしていれば、いつでも綺麗な状態を保てることも似ていると思います。

残念ながら、刀は時計ほどポピュラーではありませんが、時計のようにもっと世界に認められ、数多くの愛好家・収集家が出てくれば、価値は飛躍的に高まるでしょう。そのためにも、私も業者がもっと頑張りを、日本国のみならず、世界へ向けての発信活動が続けていかねばならないと思います。

時計の世界と刀の世界の共通点をもっと事細かに説明したいところですが、限りあるスペースですので、またの機会とさせていただきます。



刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

刀剣の故地を往く 和歌山県・高野山

天空の聖地に眠る清磨の墓を訪ねて

高野山には一度は行ってみたいと前から思っていた。その理由の一つに、栗原信秀が師である源清磨のために建立した墓をお参りするところがあった。

信秀は元治元年(一八六四)から慶応三年(一八六七)までの四年間幕府の御用のために大坂に滞在し、数多くの名刀を鍛えている。その間慶応元年五月二日に筑前守を受領。墓碑の左側面に「筑前守」の文字があることから、建立は慶応二、三年と察せられる。

墓銘は正面に「山浦清磨之墓」とあり、左側面は「東都 栗原筑前守 平信秀建之」と読めるが、右側面の「安政元卯年十一月十四日寂」は現在首に覆われて判読しづらかった。

さらに、『栗原筑前守信秀の研究』(昭和五十一年)によれば、信秀は墓石の建立と同時に、高野山の中にある蓮華定院に清磨の永代供養のための位牌を納めている。その裏側に「東都本郷春木町二丁目栗原筑前守 平信秀」とあり、当時、本郷に暮らしていたことがわかる。

このように、信秀は大坂滞在中に高野山を訪れて清磨の墓を建立しており、いかに師匠思いであったかを知らることができて、信秀がますます好きになった。

ところで、清磨の墓を参拝したくても、それが一体どこにあるのかが心配になった。何せ高野山には二十万基を超える墓碑や供養塔、慰霊碑



清磨の墓(右手前)と藤代義雄碑(奥)

松田さんがこやかに出迎えてくださっていた。そこから車約十五分、苅萱堂に到着した。お堂でおいしいお茶を頂いた。いよいよ

があるという。漠然と高野山に行くと、清磨の墓が簡単に見つかるはずもない。そこで、いろいろな方に問い合わせをし、ようやくある方になど着いた。その方は今から五年ほど前、定年退職後、高野山に入山して修行を重ね、僧侶になられた松田義光さんである。氏は大の愛刀家であり、私も面識があった。現在、高野山で有名な苅萱堂で堂守をされている。

虹雅堂の等原康正さんに松田さんの電話を調べていただき、早速に連絡してみると、「清磨の墓は承知してあるので、ぜひおいでください」との吉報を得ることができた。早々に予定を立て、ホテルや宿坊の予約を取り、五月二十日に行こうとした。

最初、度肝を抜かれたのは、薩摩島津家の墓所である。高さ六、七メートルもあるだろうが、巨大な石で作った供養塔が何基も建っていた。松田氏によれば、大きな塔の中は空洞だとか。諸大名が競って供養塔を建立したのは、三代将軍家光の奨励によるものである等々、僧職でなければ知り得ないさまざまな興味深い話を伺いながら、前へ前へと進んでいく。



壇上加藍前にて松田義光さん(右)と筆者

よ清磨の墓を目指すことになった。歩いて十分ほどの所に奥の院入り口の一の橋がある。小さな一の橋を渡ると、そこからは神聖な場所へと一変する。凜とした空気が漂い、背筋がピンと伸びる思いがする。奥の院まで約二キロの石畳が続く。樹齢数百年の杉の巨木が天を突き、空は吸い込まれるように青い。

十五分ほど歩くと、右側に石田三成の墓所があり、その近くに清磨の墓があった。「眞賀さん、ここですよ！ここですよ！」。清磨の墓が眼前に現れた瞬間、胸にこみ上げるものを覚えた。

その横には、清磨をよまなく愛し、深く研究し、清磨を世に送り出した藤代義雄先生の碑が建てられていた。昭和四十六年六月六日、二十七回忌に合わせ、有志百余名によって建立されたものである。碑の裏側には、清磨を最も愛した藤代義雄先生の名を先頭に、当時の愛刀家、研

究者、刀職者、刀剣商、藤代松雄先生の門人らの名が刻まれている。墓所をきれいに清掃した後、線香を手向け、松田僧侶の読経が営まれた。清磨・義雄両先生に刀剣界のことをお願いし、その後、さらに奥の院へと足を運んだ。

また、なかなか歩いてはいけない女人堂や徳川家霊台・大門などにも車でお参りしていただき、この日は早めには宿坊である福智院に向かった。夕刻五時には精進料理を頂き、早々と就寝。翌朝は五時に起床し、本堂にて朝の読経など、宿坊ならではの良い体験もさせてもらった。

もう一度奥の院に出かけてみた。早朝のため参拝者の姿はなく、ゆっくりと参拝することができた。その後は、高野山の中心部にある金剛峯寺・壇上加藍・霊宝館などを参拝し、午後三時ごろ家路に就いた。

高野山は今から千二百年前の平安時代に、弘法大師(空海上人)が真言密教の根本道場として開創された聖地です。私も七十歳を過ぎ、足腰の丈夫なうちにと思い、家内と二人で出かけてきました。天候にも恵まれ、本当に楽しい思い出ができました。

計報

当組合賛助会員、公益財団法人日本美術刀剣保存協会現代刀職展「作刀の部無鑑査、刀匠の吉原義一氏」は、五月一日に逝去されました。享年五十一。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

吉原義一氏を偲んで

平成三十年五月一日、斯界の宝であり今後も大いに活躍が期待されていた、吉原義一無鑑査刀匠が逝去されました。享年五十一歳でした。吉原義一氏は昭和四十二年に吉原義人無鑑査刀匠の子息として生を受けました。まさに作刀界の名門中の名門といえる環境で育ったのです。

なほ六月二十三日、第一ホテル両国において「お別れの会」が開かれ、関係者多数が吉原氏をしのびました。次掲は席上、公益財団法人日本美術刀剣保存協会を代表して、たたら・伝統文化課長黒澤哲哉氏が読まれた弔辞です。

作刀界の最高位である無鑑査に認定されました。その後、日刀保の各種研修会での講師や、新作名刀展(現名称・現代刀職展)での審査員などを歴任し、高潔な人格と指導力の高さには定評がありました。ここに、哀悼の誠を心より捧げ、吉原義一刀匠の名作を展示し、その人柄と功績を偲びたいと思えます。氏の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

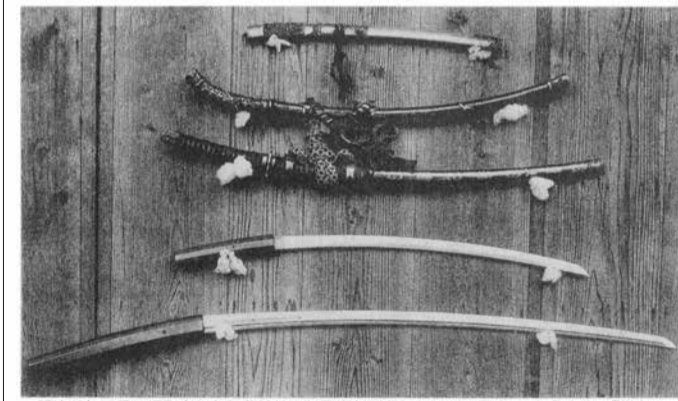
阿蘇市の笹原さん 業界紙に寄稿、呼び掛け

戦後接収：旧国宝の3点



阿蘇市の刀剣愛好家が、戦後の刀剣接収で行方不明となっている阿蘇神社(同市)ゆかりの名刀「蛭丸」(旧国宝3点)に関する情報提供を、刀剣業界紙で呼び掛けている。

不明の名刀「蛭丸」情報を



明治40年ごろに撮影された阿蘇神社や阿蘇家が所蔵していた旧国宝。下から大太刀「蛭丸」、長光作の太刀。上が「牡丹造短刀」の拵(阿蘇神社提供)

行方不明となっているのは、鎌倉時代の名工「来国俊」の作で阿蘇神社の大宮司・阿蘇家が伝わる大太刀「蛭丸」、同神社所蔵で長光作の太刀、菊池光光の奉納とされる「牡丹造短刀」(70が、全国刀剣商業協同組合発行の「刀剣界」に寄稿した。同神社などによると、いずれも1945年12月に連合軍軍司令部(GHQ)の命令で宮地署(現阿蘇署)に提出後、熊本市の熊本城内の倉庫に移された。一併に接収された刀剣類の多くは後に返還されたが、3点は行方不明のままのため、その後、法の改正で国宝から国指定重要文化財となった。

日本刀 販売 買取 委託 e-sword (株) e-sword (イソード) 平子誠之 〒350-1115 埼玉県川越市野田町1-4-19 1F TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407 http://www.e-sword.jp 日本刀 イソード 検索 mail:info@e-sword.jp

代表 松浦孝子 〒372-10812 群馬県伊勢崎市連取町一八三六一 TEL 〇二七〇二六〇一七七八 FAX 〇二七〇二六〇一七八

日本刀の 名品・名刀を販売 店主 小暮 昇一 〒529-1315 滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1 TEL 074914212736 携帯 0901316217641 http://www.goushunyuhononou.com

古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定 (株) 城南堂古美術店 代表 田中 勝憲 〒153-10051 東京都目黒区上目黒四-3-1 TEL 〇三三三三〇一六七六 FAX 〇三三三三〇一六七七

アオバ企画(株) 高橋 一 〒130-10012 墨田区大平四-1-9 TEL 〇三三三三〇一三三〇 FAX 〇三三三三〇一三三〇 メール aobak@pj8-so-net.ne.jp

本紙への寄稿が紹介された「熊本日新聞」平成30年3月23日



京都国立博物館

特別展「京のかたな―匠のわざと雅のこころ」開催迫る

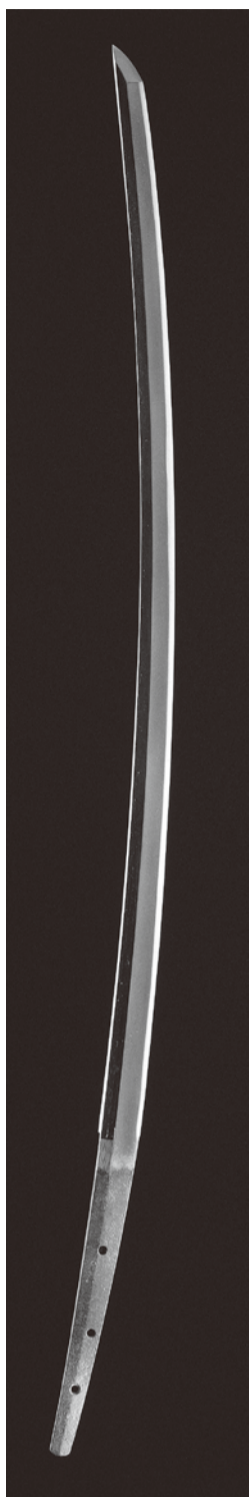
九月に京都国立博物館初となる刀剣特別展「京のかたな―匠のわざと雅のこころ」が開催される。発行がその直前となる本紙今号では、現時点まで発表された同展の最新情報を紹介し、担当学芸員に意気込みを語ってもらった。



担当する末兼研究員

公式発表のプレスリリースには「本展では、現存する京都―山城系鍛冶の作品のうち、国宝指定作品のほぼ全て……」と、いきなり度肝を抜くフレーズが登場する。過去、多くの素晴らしい特別展が開催されてきたが、国宝指定品をほぼ全てと銘打った展覧会は聞き及んだ記憶がなく、さらにその後には「平安から平成に至るまで」と、これまたとんでもない時代を網羅しており、百二十年の歴史を持つ京都国立博物館が開催する初の刀剣特別展としての気合の程が感じられる。

また、各時代の刀工たちが地域社会でどのような立場、環境の下、創作活動を行ったかを紹介するため、刀工たちの地位向上にかかわった後鳥羽上皇ゆかりの品や、上皇自らの作と伝える「菊御作」、さらに公家や武家の肖像画



国宝 太刀 銘則国 京都国立博物館蔵

や肖像彫刻に表されている武装とそれに類似する刀剣、さらには伊藤若冲筆の「伏見人形図」や、千種有功ら本業のかたなら作刀を行った公家や大名の作品も取り上げる。加えて、武家文化だけでなく、公家・町衆を含めた京文化の中で、刀工たちが果たした役割に迫るなど、京都国立博物館らしいアカデミックな作品選別とその展開にも大いに期待が募るところである。

この展覧会を企画し、実現に至らせたのが京都国立博物館企画室研究員・末兼俊彦氏である。優れた行動力と決断力、若手らしからぬ豊富な知識量と卓越した手腕で内外から注目されつつある同氏に本展覧会開催にかける意気込みを聞いた。

―本展覧会の見どころは？  
三条宗近や菊御作といった大変貴重な作品群をはじめ、来派の作品に関しては国宝指定品はほぼ全てを、栗田口の六兄弟はもとより藤四郎吉光に関しては十三点以上と、名品を網羅することができた。特に注目してもらいたいところは？

―なぜこのタイミングで？  
昭和四十年代の刀剣ブームと言われた時代をピークに、わが国での刀剣への関心は失われてきてしまった。当時を牽引した先生方も多くが現役を引退し、今のうちに展覧会を企画・開催しなければ、諸先輩方の教えを受けその知見を次世代の研究成果につなげていくことができなくなってしまうという危機があり、実現は急務だった。刀剣乱舞のヒットで刀剣ブームが再来していることは驚くべき偶然ですか？

折しも企画を練っている時期に新たな盛り上がりが出てきてくれたことは非常にありがたいですね。近年にわかに盛り上がりを見せる刀剣ブームの火付け役となった(株)ニトロプラス(刀剣乱舞)の協力は、今回も大きな集客効果を生んでくれること期待される。今では刀剣の展覧会にニトロプラスの協力は必須となり、その集客効果の絶大さから、筆者の元にも頻りに各地の美術館、博物館から仲介依頼が入るようになったが、思い起こせば三年前、最初にコラボ企画に挑戦し、今の流れを作り上げた張本人こそ、この京都国立博物館ではなかっただろうか。「展覧会と刀剣乱舞」ブームの火付け役となった本丸では今回、どのような挑戦的な企画が練られているのか。今から楽しみであり、おそらくはまた異次元の賑わいを見せられることだろう。



特別展 京のかたな 匠のわざと雅のこころ  
京都初の 刀剣特別展！  
9.29(土) - 11.25(日)  
京都国立博物館 平成知新館  
〒605-0931 京都市東山区茶屋町五二七 ☎075-525-1473 http://www.kyohaku.go.jp/ 公式ウェブサイト  
〒https://katana2018.jp (飯田慶雄)

Table with 2 columns: Chapter (e.g., Chapter 1: Birth of the Capital's Swords), and List of items (e.g., Katana, Tachi, Tanto) with their names and historical periods.

Table with 2 columns: Chapter (e.g., Chapter 4: The Capital's Swords and the Revival), and List of items (e.g., Katana, Tanto, Tachi) with their names and historical periods.

Table with 2 columns: Chapter (e.g., Chapter 6: Revival of the Capital's Swords), and List of items (e.g., Katana, Tanto, Tachi) with their names and historical periods.

Table with 2 columns: Chapter (e.g., Chapter 8: People and the Capital's Swords), and List of items (e.g., Katana, Tanto, Tachi) with their names and historical periods.



記者発表



『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に3号分を無料でお送りしています。組合員・賛助会員以外の方で購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)



丸岡城(丸岡観光協会提供)

丸岡城(丸岡観光協会提供)
丸岡城は、徳川家康に幼少時から仕えた本多作左衛門重次(鬼作佐)が長篠の戦の陣中から留守家族に宛てた手紙で、「お仙」とは仙千代、つまり丸岡藩初代藩主の本多飛騨守成重の幼名です。この手紙にちなんで、同地では平成四年から日本一短い手紙のコンクール「一筆啓上

重文丸岡城と国宝彦根城を見に行く
福井市と彦根市に続けて出張することになったので、丸岡城(別名龍ヶ城。福井県坂井市丸岡町霞町)と彦根城(別名金亀城。滋賀県彦根市金亀町)に足を延ばしてきました。
最初の福井市の仕事は土曜日出たので、金曜日午前に大宮を出発しました。何しろ現存十二天守の中で、交通の便が一番悪いのが丸岡城なのです。新幹線で金沢に着いてから特急に乗り換え、四十分ほどで彦根温泉に着く。丸岡城はそこからタクシーで三千五百円。
このお城は天正四年(一五七六)柴田勝家の養子(一説には甥)の勝豊が、勝家の本城である北ノ庄城をサボートする支城として築きました。そのころ、勝家の主君である織田信長は北陸方面の抵抗勢力(一向一揆)と対峙する緊迫した状況にあり、その最前線基地となるのが丸岡城の役割でした。
支城の任務は敵の動きを牽制し、万が一攻められたら、援軍が来るまで踏みとどまること。ですから、華美に見せる必要はなく、実戦的なのです。質素で慎ましい印象も

あります。また、天守の最上階に廻縁(ベランダのごときもの)があるのも古い形式の造りらしいところです。
現在、残っている十二天守のうち、廻縁のあるのは、戦国期から慶長の初期に造られた丸岡城と彦根城と犬山城、それに享保十二年(一七二七)の火事で焼けた後再建された高知城のみ。ちなみに高知城の再建は、慶長期のものと同じ構造・意匠になっているそうです。
天守に登ってみると、広さは十畳間ぐらしかありません。また内堀・外堀ともに埋められ、今は民家や学校になってしまっています。なぜなのだろうと係員に聞いてみました。
そうしたら、このお城は明治五年(一八七二)に、外堀まで含めた土地・建物がすべて民間に廉価で払い下げられています。
しかし、天守はそのままの状態が残り、明治三十四年に持ち主が丸岡町に寄付、町ではこれを改修し、昭和九年(一九三四)に国宝の指定を受けました。現在は重要文化財です。
「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」なる簡潔明瞭で有名な手紙があります。これは、徳川家康に幼少時から仕えた本多作左衛門重次(鬼作佐)が長篠の戦の陣中から留守家族に宛てた手紙で、「お仙」とは仙千代、つまり丸岡藩初代藩主の本多飛騨守成重の幼名です。この手紙にちなんで、同地では平成四年から日本一短い手紙のコンクール「一筆啓上

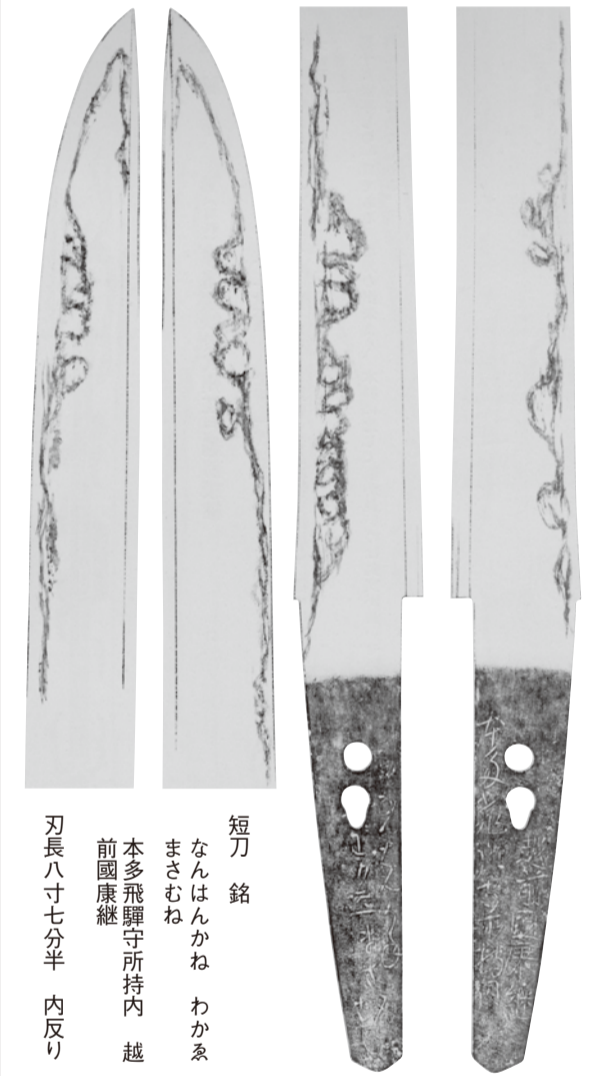
賞を募っています。
なお、初代藩主にちなむ話題としては、越前康継をぜひ取り上げておきたいところです。成重は慶長十九年(一六一四)ごろから康継の世話をするようになり、「本多飛騨守所持内」と銘した作刀が増えています。
佐藤寒山先生の『康継大鑑』には、重要美術品五点を含む同銘の作品計十九点が掲載されています。中に名物若江正宗写しで、「於豊原」と丸岡城郊外の地名を刻したのもあります。「本多飛騨守成重と越前康継」展の開催が実現されるなら興味津々です。
その後、本多家は四代重益の



彦根城天守(彦根観光協会提供)

彦根城は関ヶ原の戦の後、すぐ広いお城というわけです。彦根城は関ヶ原の戦の後、すぐ結ぶ大動脈が走る所なのです。そこで徳川家康は、大坂城の豊臣秀頼やその一派を牽制するという軍事的な役割に加え、徳川家の権力と威厳を見せつけ、新時代の到来をアピールすることも彦根城に託しました。
それにしても彦根城は広いです。天守に到着するまで十五分ぐら歩きませんが、その間に橋や櫓や門があり、それらにはすべて防御用

時代にお家騒動が起り、幕府の裁定により改易。代わって有馬清純が入城し、有馬家は幕末まで八代続きました。
翌日は福井駅近くのビルで仕事をし、彦根に移動しました。
日曜日の朝、彦根城を訪れました。彦根城は八時半から見学ができるので助かります。小生の仕事は十一時半からなので、ゆっくり見られると思っていたが甘かった。一昨日見たのが、現存十二天守のうち一番狭いお城、本日は一番広いお城というわけです。
彦根城は関ヶ原の戦の後、すぐ結ぶ大動脈が走る所なのです。そこで徳川家康は、大坂城の豊臣秀頼やその一派を牽制するという軍事的な役割に加え、徳川家の権力と威厳を見せつけ、新時代の到来をアピールすることも彦根城に託しました。
それにしても彦根城は広いです。天守に到着するまで十五分ぐら歩きませんが、その間に橋や櫓や門があり、それらにはすべて防御用



本多飛騨守所持銘入り康継作短刀(若江正宗写し)

短刀 銘
なんはんかね わかま
まさむね
本多飛騨守所持内 越前康継
刃長八寸七分半 内反り
の仕掛けがあるから、攻め込む際の難しさを実感します。
ようやく天守に着きました。そこから西の丸の三階櫓。さらに井戸郭を経由、黒門に出て、大池泉回遊式の庭園・玄宮楽々園を拝見。それから表御殿跡にある彦根城博物館と、三時間ではとても足りませんでした。
中でも博物館は立派なものでした。展示は、井伊の赤備、刀剣と武器、茶道具、書画、陶磁器、地元の湖東焼、そして能の面・装束と部門に分かれ、数量も多くて見切れません。
丸岡城の往復で乗車したタクシーの運転手さんはいずれも、丸岡城や本多家に対してさしたる思い入れもないようでしたが、彦根城は一転、饒舌でした。
「井伊の先代の殿さんが市長に立候補した時は、こっちの方が頭下げとったわ。得票率は九割以上やったで」「今の殿さんは学者さんなんやけど、うちの車によく乗ってくれるんや」
井伊家は今も、旧領主として理想的な生き方をしているのだから、丸岡城と彦根城、それぞれに味があり、楽しい旅となりました。(持田具宏)

- 公益財団法人日本美術刀剣保存協会(酒井忠久会長)ではこのほど二〇一八年度「現代刀職展」のコンクール審査を二度に分けて開催し、それぞれの結果を発表した。
従来、「新作名刀展」は作刀・刀身彫・彫金を、また「刀剣研磨・外装技術発表会」は研磨・白鞘・刀装・柄前・白銀を対象として、伝統技術の保存と向上を図るとともに、現代技術の優秀さを広め、文化財としての刀剣への関心を高めることを目的として開催してきたが、今後は「現代刀職展」として両者の合同開催とし、各部門の作品展示を通して刀剣が多くの人々の手になる総合芸術であることを伝えていく。
部門別の入賞者は次の通り。
●作刀の部
☆太刀・刀・脇指・薙刀・槍の部
☆高松宮記念賞 高見一良
☆葦山賞 小宮早陽光
☆寒山賞 加藤賢津雄
☆公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長賞 高橋祐哉
☆優秀賞 曾根寛・森國利文
☆努力賞 上島誠・小宮治氣・木村光宏・北川哲士・松川隆・高田欣和・黒本知輝・宮城朋幸・羽岡慎仁・宮下輝・杉山俊雄
☆短刀・劍の部
☆優秀賞 満足浩次・石田智久・新保基治
☆努力賞 高橋祐哉・安藤祐介・高田欣和・佐々木直彦
●刀身彫の部
☆葦山賞 川島義之
☆優秀賞 福與裕毅
☆努力賞 伊藤桂子・小栗辰巳・武田守夫・柳川清次
●研磨の部
☆鎬造の部
☆木屋賞 藤代龍哉
☆竹屋賞 各務玄太
☆千葉賞 多田芳徳
☆葦山賞 菊池真修
☆寒山賞 小川和比古
☆公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長賞 松村壮太郎
☆優秀賞 神山貴恵・柏木良・松尾清健
☆努力賞 要堺市郎・諸富剛・阿部義貞・是澤光昌・井上聡・細川正勝・柿沼進一・村上一郎
☆平造の部
☆優秀賞 平井隆守・真津仁彰
☆努力賞 黒本瑠美・神山貴恵・柏木良
●白鞘の部
☆優秀賞 永洞修
☆努力賞 河合広明・大槻良一
●刀装の部
☆公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長賞 久保純一
☆努力賞 福士繁雄・久保謙太郎
●柄前の部
☆公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長賞 伊藤俊克・橋本幸律
☆優秀賞 飯山隆司・久保純一
☆努力賞 平山直弥・山田真也・北岡幸治・矢倉聡一・久保謙太郎
●白銀の部
☆優秀賞 宮本恒之・三島幹則
☆努力賞 柿沼進一・野口裕弘
なお「現代刀職展」は次の三館で巡回展として開催される。
■刀剣博物館 墨田区横網一・二・九 〇三六二八四一〇〇〇 七月二十一日(土)〜十月二十四日(月)祝
■致道博物館 山形県鶴岡市家中新町一〇一八 〇三三三三三三三三 一九九 十月二十四日(水)〜十一月十五日(木)
■森記念秋水美術館 富山市千石町一三六 〇七六四二五五七〇 〇 十一月二十三日(金祝)〜十二月十六日(日)

NEWS & TOPICS
二〇一八年度「現代刀職展」始まる



2017年度組合査定・買い入れ状況報告

Table with columns: 日付 (Date), 担当者 (Staff), 査定・買取 (Appraisal/Acquisition), 種別 (Category). Lists transactions from April to March 2018.

組合こよみ (平成30年5~6月)

- 5月1日 賛助会員吉原義一氏逝去
4日 組合員須藤教成氏ご尊父逝去
12日 東京美術倶楽部において「刀剣評価鑑定士」実行委員会を開催...

象牙の登録申請手続きについて

希少動物保護が叫ばれる昨今の国際情勢に鑑み、わが国においても象牙の商取引について、従来にも増して厳密な制度運用が求められています。

刀剣業界は永年、登録制度による日本刀の適正管理と保全、あるいは国宝・重要文化財・重要美術品の海外流出を防ぐ取り組みを続けてきました。象牙の登録申請は、希少動物の保護と同時に象牙作品という文化財の保護をも目的として行われるもので、日本刀の登録制度の趣旨と一部通底する部分があります。

象牙の登録申請手続きは大別して、『申請を行う前の確認事項』と『登録申請書など必要書類の準備提出』の2つの段階を経て行われます。これらの手続きは、環境省より委嘱を受けた自然環境研究センターが主体となって行われます。今回は、各手続きのうち注意を要する点を要約しましたので、お役立てください。

さらに詳しい内容は環境省ホームページをご確認ください。

https://www.env.go.jp/nature/kisho/zougetorihiki.html

1. 申請を行う前の確認事項

- 申請対象が本物の象牙であるか確認
鑑定書を取得する必要はありません。
偽物を申請した場合は1年以下の懲役又は100万円以下の罰金となります。

合法的に取得したものであることを確認

登録申請できる象牙は、法規制がなされる前に国内で取得した、または国内に輸入された象牙のみです。象の種類ごとに規制対象とされた年月日が異なります。無登録の象牙の取得が規制対象年月日以後の場合は合法的に取得した象牙と認められず、基本的に新規の象牙登録が認められないので注意してください。

- アジア象の象牙 1980年11月4日に規制対象に指定
アフリカ象の象牙 1990年1月18日に規制対象に指定

現在流通している象牙の多くはアフリカ象です。まれにアジア象やインド象の象牙もあると言います。実際の登録の際に象牙の種類について自然環境研究センター担当者より質問がなされますので、わかる範囲で答えてください。基本的に象牙の種類について鑑定書などの提出を要求されたケースは現在のところ(2018年6月現在)確認されていません。

象牙の形状確認

登録申請できる象牙は、全形を保持しているのみです。

全形を保持している象牙とは、ゆるやかに弧を描き、根本から先端にかけて先細るといった一般的に象牙の形と認識できるものです。

- 先端部を含み歯随腔が確認できるもの
先端部を含み、歯随腔は確認できないが長さが20cm以上のもの
象牙の一部が欠けていても、一般的な象牙の形又は象牙の形を含むと認識することができるもの

全形を保持している象牙に加工を施したものの(加工の程度にかかわらず、一般的な象牙の形または象牙の形を含むと認識することができるもの)

- 判断に迷ったら下記に電話連絡をお願いします。
一般財団法人自然環境研究センター 国際希少種管理事業部
直通電話03-6659-6018(土・日・祝日を除く平日10時~17時)
直通ファックス03-6659-6320

2. 登録申請書その他必要書類の準備提出について

必要書類は5種類あります。下記URLより申請書類、記入例をダウンロード可能です。

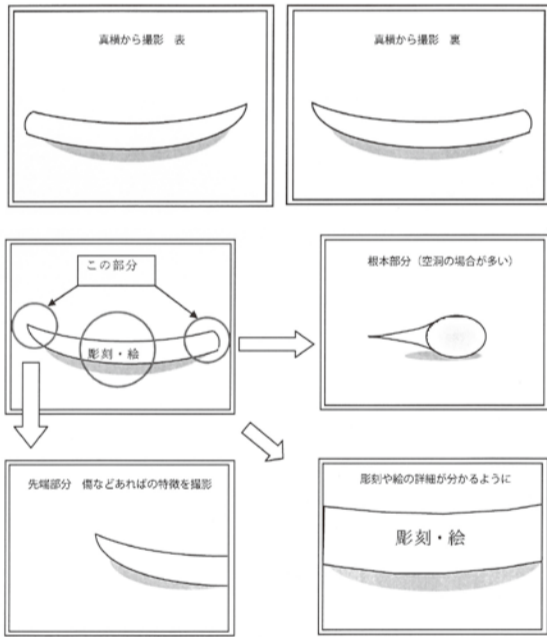
http://www.jwrc.or.jp/service/cites/regist/kikan/zouge1.htm

- 登録申請書
取得経緯の自己申告書
申請する象牙の写真(4、5枚程度)
取得の経緯の裏付けとなる書類
本人確認ができる書類の写し(免許証・保険証・住民票などのコピー)

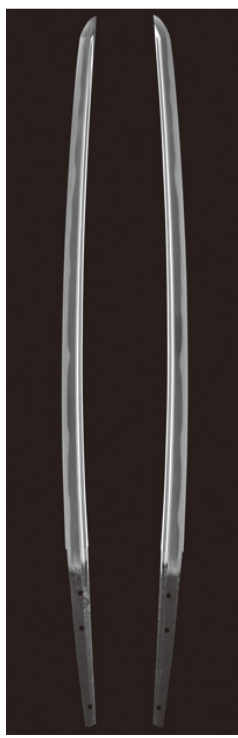
登録手数料は一点当たり5,000円です

(注意点)

- 特に重視されるのが取得経緯の自己申告書です。法令で規制される日より前に取得した象牙であるということを筋立てて書類に記載する必要があります。
象牙の長さは刀の刃長と同じ要領で象牙の棟の直線距離を測ります(86.3cmなど小数点以下1桁まで記述)。
重量は10.15kgとか、7.20kgというように小数点以下2桁まで記載。
象牙の重さの量り方は体重計を利用し、最初に象牙持って体重計に乗り重さを量り、次に象牙を持たずに体重を量り体重の差を量って象牙の重量を算出してください。
象牙の写真の撮影方法は図をご参照ください。



登録手続きは事前確認作業を含めて3週間程度で完了します。(今津同力)



刀 銘(菱紋以南鑿鐵於武州江戸越前康継 土方歳三所用 佐藤彦五郎新選組資料館)



福島県立博物館 965-0807 福島県会津若松市城東町一三二五 024-2211-6000 http://www.general-museum.fks.ed.jp/

福島県立博物館では七月十三日(金)八月十九日(日)、「美しき刃たち」東京富士美術館コレクションと福島の名刀」を開催する(月曜休館)。

福島県博で東京富士美術館コレクションと福島の名刀を展観

青などを併せて展示。江戸時代の福島県域にあった多様な刀剣の技と美も紹介する。
また、戊辰戦争百五十周年に合わせ、会津藩と行動を共にした新撰組副長・土方歳三所用の康継が特別に出品されるほか、会期中、講演会・シンポジウムなどのイベントや、鎧の着付け体験、居合の演習、解説会なども予定される。

第二回全国大会は今秋開催

公益財団法人日本美術刀剣保存協会(酒井忠久会長)では協会設立七十周年・たたら操業四十周年記念「第二回全国大会」を、左記の通り開催する。
申し込みの方法などは追って発表される。宿泊する場合は各自で早めに予約することを勧めている。
会期・十一月二十四日(土)二十五日(日)
会場・刀剣博物館II墨田区横網一丁目二十九番地(03-5628-4100)
第一ホテル両国II墨田区横網一丁目一六番地(03-5621-1521)



ブック・レビュー BOOK REVIEW

日本近世史の大家による「刀剣の贈答」研究  
『刀剣と格付け―徳川將軍家と名工たち』

深井雅海 著 吉川弘文館 定価(本体一八〇〇円十税)

『イギリスはおいしい』(平凡社)などの著書でも知られる国文学者の林望先生が、かつて「専門外のことでも、学生の取り組んでいる研究の飛躍、脱線、独りよがりを見極めて、的確な助言をするのが指導教官の役割である」というようなことを書いていた。

この名言を思い出させたのが、野田ゆりえ氏「近世における將軍家と大名家間の刀剣贈答」(『聖心女子大学大学院論集』第三十九巻一号、平成二十九年七月)。知人の紹介で知ったこの論文は、將軍家と大名家の間で刀剣の贈答について考察した論考であった。大名の代替わり、御国下りの挨拶などの際に、太刀の献上、下賜が行われたことは周知の事実。野田氏は『寛政重修諸家譜』の刀剣贈答の記載一つ一つに当たって刀剣贈答リストを作成し、この論考を手掛けた。また同大学図書館所蔵の『諸国鍛冶代目録』に「無上別三千貫」というように代付が記されており、野田氏は代付表を作成したのだ。

「根気のある人がいるなあ」と感心する一方、導いた指導教官は誰なのだろう、と思っていた。それが深井雅海氏。表題の書籍の著者である。学生の書いた論考と、大学図書館が所持する刀の代付帳に刺激されて、この書を書き出すに至ったという。数多くの優れ

た論考で知られる日本近世史学会の権威の一人が、刀剣関係の本を出したというのは、驚くべきことだろう。この本は江戸幕府政治史、武家社会の専門家・深井雅海氏が、自らの関心に引き付けて、刀の贈答を取り上げて著したものである。古刀のどのようなものが献上・下賜され、聖心女子大学図書館蔵の史料が示す代付と合わせて考えることのようなことが明らかになるのか。殊に八代將軍吉宗が、幕府や大名家に伝わる古名刀について、本阿弥光忠から調査(いわゆる「享保名物帳」)を提出させ、諸藩に命じて各国の優工の作を提出させて審査した事実を取り上げて、考察している。

名物帳が作成されるに当たっての諸々の事柄、史料が多々引用されていて、とても参考になる。

また、江戸に召された信国重臣が、不動正宗を模して作刀せよと命じられて、刀身の形は真似できるし、彫刻もどうにかなるが、しかし地の色までは無理ですと断つてから鍛刀した逸話、家康が大坂の陣で用いた刀が、実は、今川義元討死の際の佩刀左文字の刀であったことなど、あまり知られていない事柄に関する新鮮な学びがあり、読む価値の高い好著である。

それにしても世の中、変わったものだ。二十年ほど前、母校の史学会の懇親会に行った筆者に先輩方は「刀ってのはよくわからないものだ」「得味がわからない」という風だったし、大分県の郷土博物館に就職した某研究者も、機関誌に「豊後刀というのは古来あるが、その多くの美術的価値は低い一みたいなことを平気で書いていて、「刀のこと何にも知らないくせに、勝手なことを書いていっている」という憤りを覚えたものだ。また十数年前、ゼミの先輩の誘いで『義経とその時代』(山川出版社)に刀装具に描かれた源平合戦というテーマで一文を寄せた際も、異端者に対するがごとき眼差しが感じられた。御刀女子ブームと言われる平成三十年に、日本近世史の深井氏が、刀のことをご著書をお出しになられたというのは本当に驚くべきことだと思う。じっくり読んで書くと、宇佐美(すも)氏の「贈答太刀の拵からみる義政期公武関係―黒漆太刀と平輪太刀の使い分けを中心に」(『刀剣美術』七三三号、二〇一八年二月)にも新鮮な驚きを覚えた。「兼真公記」や「看聞日記」などの史料を素材に、ユニークな切り口で、室町將軍期の太刀の贈答を研究したこの論文を書いた宇佐美氏は、東京大学大学院の学生であった。刀剣界には、あまりなじみのない文献史料が駆使されており、難解ではある。それでも一読をお勧めしたい。史学科の学生が刀剣を正面から取り上げて、論文を発表したことも、かつてないことだ。

刀剣と格付け



「得味がわからない」という風だったし、大分県の郷土博物館に就職した某研究者も、機関誌に「豊後刀というのは古来あるが、その多くの美術的価値は低い一みたいなことを平気で書いていて、「刀のこと何にも知らないくせに、勝手なことを書いていっている」という憤りを覚えたものだ。また十数年前、ゼミの先輩の誘いで『義経とその時代』(山川出版社)に刀装具に描かれた源平合戦というテーマで一文を寄せた際も、異端者に対するがごとき眼差しが感じられた。御刀女子ブームと言われる平成三十年に、日本近世史の深井氏が、刀のことをご著書をお出しになられたというのは本当に驚くべきことだと思う。じっくり読んで書くと、宇佐美(すも)氏の「贈答太刀の拵からみる義政期公武関係―黒漆太刀と平輪太刀の使い分けを中心に」(『刀剣美術』七三三号、二〇一八年二月)にも新鮮な驚きを覚えた。「兼真公記」や「看聞日記」などの史料を素材に、ユニークな切り口で、室町將軍期の太刀の贈答を研究したこの論文を書いた宇佐美氏は、東京大学大学院の学生であった。刀剣界には、あまりなじみのない文献史料が駆使されており、難解ではある。それでも一読をお勧めしたい。史学科の学生が刀剣を正面から取り上げて、論文を発表したことも、かつてないことだ。

シヨウちゃん 健脚商売 19 東京都八王子 続編

今日の俺の行き先は八王子市台町。昨秋と同じ場所に行く理由は朱華堂の滝沢新一氏の主宰する武州八王子刀剣会の開催日があったに来ない第五日曜日。一度に取材できなかったから。そして二つの長い上り坂が好きならわけはなく、安全だからという理由でこちらに足が向いてしまふ。

武州八王子刀剣会は愛刀家の持ち寄り方式。ご自慢の珍品が台町町内会館の床の間に並ぶ。このGW初日も床の間陳列三巡目まで刀剣類が入れ替わりで出品されたが、刻み輪の短刀拵がかっこいいのに加え、岩本昆寛一(いわた)の鐔はこれに会わぬ、日刀保の証書の画題欄に調布玉川図とある。無粋な俺には理解不能。誰か教えて。そして七月の第五日曜日には、

恩師柳村仙寿師を悼む

柳村仙寿師(本名重信)が去る四月二十八日、長期療養のかいもなく逝去されました。享年七十三。ここに謹んで哀悼をお祈り申し上げます。

なお、本葬は五月二十日に岡山駅近くの斎場で行われ、執り行われました。喪主は長男の柳村宗寿氏(本名将之)が務められました。

私も参列者約百五十名に加わり、追悼させていただきました。昭和六十年に刀身彫刻家・彫金師を目指し仙寿先生に入門して以



撮影/トム岸田

降、約六年間修業させていただきました。当時のことがまるで走馬灯のようによみがえり、悲しみに目頭が熱くなりました。

指導に当たっては厳しくもあり、それでいて瞳の奥には「弟子を育てる優しいまなこ」を常にたたえ、丁寧に教えてくださいます。今も深く感謝しています。

師を失い、あらためてその偉大さに気づかせていただいた思いでございませう。

柳村仙寿師は刀身彫刻家の故吾口仙秀師に師事。昭和六十年に日本美術刀剣保存協会「新刀展覧会」刀身彫の部で最高賞受賞、平成九年無鑑査に認定。昭和六十三年伊勢神宮式年遷宮で御神宝を製作奉仕。平成七年、岡山県重要無形文化財保持者に認定された。(佐藤重義)

行列で有名な「ラーメンJ野猿街道店」は無視で来た。そこから四キロほど、今度は埼玉に住む持田理事や優古堂さんらほんざりなのに、世田谷に住む俺には珍しくてしようがない「餃子のM聖蹟桜ヶ丘店」が眼前に登場!ここでブレイキを掴み、ガッツリ食べてしまった。



武州八王子刀剣会の皆さんと

こんなに食べたら、気持ち悪くて坂を登れるわけがない。秋には強豪たちに追い抜かれた場所だが、今日は普通っぽいお兄さん(失礼)に抜かれる。やっと登り終えると今度は長い下り坂。速度は五〇キロほどに届く。初夏の風が心地よい。なんだか眠くなってきたよ。(綱取譲)

「アートアクアリウム2018」で日本刀展示

東京・日本橋、コレド室町1の日本橋三井ホールにて「アートアクアリウム2018」江戸・金魚の涼」が開催されています。

アートアクアリウムでは金魚をアートとして鑑賞する催しを開催し、日本橋をはじめ全国各地にて夏の風物詩として毎年多くの人々を魅了しています。今年も江戸時代のガラス天井に金魚が泳ぐ「天井金魚」の再現や屏風をモチーフにした「金魚大群風」など、多種多様な金魚が会場を彩る中、月山貞利刀匠の最新作も展示されています。

刀身に綾杉肌が見られる伝統の月山刀には、アートアクアリウム・アーティスト木村英智氏のデザインを元に、貞利刀匠彫刻による金魚の図柄が施されています。約一年をかけて完成した作品は、金魚が泳ぐ幻想的な展示の中で、日本の魂として輝いています。会期:七月六日(金)〜九月二十四日(月・祝) 会期中無休

会場:日本橋三井ホールII中央区日本橋室町二二一 一 コレド室町一五階 http://artaquarium.jp/ 協力:ZENDEX(全日本後継者育成支援協会)、(一社)全日本刀匠会事業部



金魚の刀身彫りのある月山貞利作品



# 刀 剣 界

## イベント・レポート

### 名品を集めて「刀有会」第十大会が開かれる

五月五日、「刀有会」(志塚徳行会長)の第十大会が埼玉県さいたま市のパレスホテル大宮で開催されたので、参加してきました。刀有会はもと「刀剣を愛する有志の会」であったのが、略して現在の名称になったそうです。初代会長は森記念秋水美術館長の森政雄氏で、第一回大会は会長の地元である富山市にて開催されました。同氏が八年前会長を務め



刀有会大会の懇親会でスピーチする高見山大五郎氏

られ、現在は公益財団法人日本美術刀剣保存協会常務理事の志塚氏に引き継がれています。刀有会では、年一回の大会を日刀保の協力団体が中心となり、各地で開催してきました。会員は日刀保理事・評議員と職方らの四十五名。大会への参加は会員の紹介により可能で、日本刀の啓発のために広く呼びかけています。今回の展示品としては、古刀二十一点のうち、重要美術品二点、特別重要刀剣八点、重要刀剣十一点、新刀・新々刀は重要刀剣十四点、ほかに重要刀装具八点、重要刀装・特別保存刀装各三点という素晴らしい内容でした。最近では重要刀剣でも無銘作品が多い中、全て在銘作品とあって、見応えがありました。そんな名品揃いの鑑賞刀の中、小生が二十数年ぶりに出会えたのが、特別重要刀剣の古備前行秀と古青江次忠でした。行秀の力強い太刀姿と物打

の二重刃、次忠の堂々たる二尺八寸の刃長と、古の武勲である物打の数力所の切込と矢疵。この二振は、小生が杉江美術店で番頭をしていた当時、店主の杉江雄治氏が扱われたものです。その折も鑑賞しているのですが、小生、これらの刀のすばさを十分わかっていませんでした。杉江氏が数々の名刀を扱っていたことが、あらためて実感されました。鑑賞会後の懇親会も盛況でした。大相撲元関脇の高見山大五郎さんがおいでになり、「二倍・二倍」といって、小生の世代には懐かしい丸八真綿のCMを披露してくださいました。もう一つ特筆すべきは、二十数名の刀剣女子が大会に参加してくれたことです。皆さん、鑑賞する態度も立派ですし、よく勉強もされていきました。こういった方々が増えてくると、われわれ刀剣商もありがたいのですが…。なお、来年の刀有会大会は、清鷹に合せて長野県にて開催されるそうです。(持田真宏)

### 村山龍平氏のコレクションの歩みと月山貞一を見る

四月二十一日から六月十七日まで、没後百年記念「明治の刀工月



落ち着いたたづまの香雪美術館

山貞一展」が、神戸市御影郡部の高級住宅街地にある香雪美術館で開催された。同館は、朝日新聞社創設者で、大正・昭和期に茶道具の収集家としても有名だった村山龍平氏のコレクションを中心に設立された。刀剣も一時期八百振近いコレクションがあったほどの愛刀家でもあり、同館では五年に一度、刀剣の展示会を企画している。帝室技芸員月山貞一については、綾杉肌の作風や刀身彫の技量の高さ、厳しい時代の作刀界を牽引した功労など今さら述べるまでもな

いが、貞吉・貞一・貞勝と続いて暮末・明治・大正・昭和を生き抜いた名匠の家系である。その月山歴代の代表作に加え、昭和十六年に村山氏がタイ国総理大臣へ友好の証として寄贈した貞勝刀や、数多の刀剣を手入れた鉄線図時絵の手入れ道具箱、風変わりな洒落た形の刀掛、特注と思われる鐔を刺繍した大きなテーブルクロス、後藤家小柄箆など、所縁の展示品に趣向が凝らされていた。会場と作品の上品さがよくマッチしている、素敵な空間であった。(伊波賢一)

### 「青年会」大会、宇都宮で盛況開催

六月二十六日、栃木県宇都宮市のニューイタヤホテルにて「全国美術刀剣青年会」の大会が開催された。



盛況だった宇都宮の青年会大会

当地では平成十二年に、故大塚鋼次氏が代表幹事の折に大会を開催しており、参加された方も多い

と思う。本年度の大塚康徳代表幹事は鋼次氏の従兄弟であり、感慨深い。梅雨の季節にもかかわらず快晴で迎えた当日の会場には、青年会を応援しようという温かい気持ちの歴史OB、大会客員たちが持ち寄った数々の名品が足の踏み場がないほどに並べられた。中には家彫・町彫・平田道仁などの重要指定作品も含まれ、皆自らが向きの名品を競り落とそうと、会場は熱い熱気に包まれた。それぞれが大粒の汗をかきながらも盛んな取引が行われた結果、近年では稀な五千万円を超え大商いとなり、盛況のうちに大会は幕を下ろし、皆満足の顔で懇親会会場へと流れ込んだ。近年の好景気を実感させる大盛況であった。(飯田慶雄)

### 「お守り刀展」が岡山高島屋にて展示販売される

四月二十五日から五月一日まで、岡山高島屋において「お守り刀展」の展示販売会が開催されました。

初めての開催場所でしたが、トップの文部科学大臣賞を受賞した上山陽三氏(刀匠銘輝平、岡山県)の作品には早々に予約が入ったり、



展示即売会場の岡山高島屋

次々と商談もあり、好評な展示販売となりました。次年度は、発表展覧会後、場所を東の首都圏に移し、同様の展示販売を計画とのこと。一般の方々の目に触れる機会が継続されることは喜ばしいことです。文部科学大臣賞に加え数々の受賞を果たした上山刀匠に、参加記を頂きました。(伊波賢一)

「お守り刀展」に参加させていただきました。岡山高島屋で刀を展示販売するのは今回が初めてということで、期間中は岡山の全日本刀匠会会員が交代で常駐しました。普段は、仕事場で黙々と仕事をしていた、直接お客さまと

## NEWS & TOPICS

### 靖国刀を鍛えた金敷が靖国神社に里帰り

六月二十三日、かつて靖国神社境内で靖国刀を作っていた金敷が七十三年ぶりに神社に奉納された。奉納者は鎌倉刀匠会会長山村綱広刀匠で、一八〇kgの金敷を運んでくれたのは横須賀在住の米海軍有志の方々である。かつて日本陸軍では十官に優れ



金敷を運び出す山村刀匠ら関係者

た軍刀を供給する目的で、日本刀鍛錬会を設立。靖国神社境内に招聘された十人の刀匠たちによって作刀されていたが、昭和十九年空襲を避けるために四国に移転した。金敷は戦後になって最後の靖国刀匠増田靖要氏が保管していたが、増田刀匠没後は、弟子の山村刀匠が保管していた。昨年からは奉納に向けての準備がかり、真っ赤に錆びた金敷を弟子一同で磨いていたところ、山村刀匠の工房に遊びにきていた米海軍のクリス氏から「ぜひ自分たちで靖国神社に奉納したい」との申し出があり、今般の奉納となった。かつて米軍の空襲を避け疎開した金敷が、年月を経て米海軍兵士によって元の神社に奉納されたのは、時代の流れを感じさせる出来事である。(鎌倉刀匠会・出島宏一)

お話しすることがあまりないので、とても貴重な経験になりました。展示会場のお客さまの反応で気づいたことですが、女性は持ち運びの見栄えがするものに興味を持たれる方が多いようでしたので、次回出品する時はなるべく持ち運びのお守り刀にするかと販売しやすいと感じました。とはいえ、刀鍛冶としては刀身の奥深い魅力を伝えたいのですが、短時間で刀身の魅力を伝えることはとても難しいことです。そのためにも刀を所有していたり、刀匠さんや刀匠のファンを増やして行くのもよいのではないのでしょうか。次回も努力を続けたいと思います。(上山輝平)

**東京国立博物館**  
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9  
☎03-5777-8600 (ハローダイヤル) http://www.tnm.jp/

**刀剣展示**

「水龍剣」の号のある奈良時代の直刀、鎌倉時代の京都の刀工、粟田口吉光による名物「厚藤四郎」、備前国長船派の長光の太刀など、平安時代から幕末に至る各流派の刀工による作品を16口展示します。鐔・小道具は、蟹や鯉などの夏の展示期間に合わせた意匠の作品を多数展示します。  
会期：7月10日(火)～9月17日(月)



## 催事情報

### ■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767  
http://www.city.setouchi.lg.jp/token/

### 特別展「古今東西 刀匠・職方列伝パートII」

平成30年は当館が開館35周年となり、日本美術刀剣保存協会岡山県支部も創立70周年の節目の年となります。そこで、当博物館と岡山県支部が共同で展覧会の企画に取り組みました。

今回の展示は、県内外から貴重な刀剣類を一堂に集め、開催します。この機会にご来場くださり、名品の数々をご堪能ください。

会期：6月29日(金)～9月2日(日) 月曜休館(祝日の場合は翌日)、ただし8月13日は開館、翌日休館

41	短刀	銘	備前長船匠作 金谷家刀
40	脇指	銘	廣清作 平成一十七年八月日
39	短刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
38	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
37	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
36	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
35	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
34	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
33	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
32	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
31	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
30	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
29	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
28	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
27	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
26	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
25	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
24	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
23	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
22	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
21	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
20	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
19	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
18	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
17	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
16	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
15	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
14	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
13	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
12	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
11	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
10	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
9	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
8	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
7	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
6	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
5	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
4	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
3	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
2	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日
1	太刀	銘	備前長船匠作 平成一十七年二月日

### ■森記念秋水美術館 〒930-0066 富山市千石町1-3-6 ☎076-425-5700 http://www.mori-shusui-museum.jp/

### 北国物のきらめき—北陸の名刀展—

古来北陸で作られた刀は「北国物」と呼ばれ、地鉄が黒ずむなど、作風に特徴があります。今回は、当館コレクションの主体となる越中国(富山県)の刀工作品を中心に、北陸三県で製作された古今の名刀を展示します。

越中国では鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて、日本刀の巨匠「正宗」の兄弟子と伝わる名工「則重」や魚津の松倉で活躍し天下三作にも挙げられる「郷義弘」らの名工が現れました。また、時を同じくして大和の地から来住した古入道国光を祖とする「宇多派」の作品も近年見直され、高く評価されています。また、加賀国では加州真景や藤島友重、「加州正宗」と称された兼若など北国物、の名刀を通観していただき、その魅力をご紹介いたします。

会期：6月2日(土)～8月26日(日) 月曜休館、ただし8月13日は開館、翌日休館



35	刀	銘	越中住藤原重清
34	刀	銘	越中住藤原重清
33	刀	銘	越中住藤原重清
32	脇指	銘	宇多国宗
31	刀	銘	宇多国宗
30	脇指	銘	宇多国宗
29	短刀	銘	宇多国宗
28	短刀	銘	宇多国宗
27	短刀	銘	宇多国宗
26	太刀	銘	古宇多
25	太刀	銘	友次
24	太刀	銘	友重(古宇多)
23	太刀	銘	宇多国房
22	太刀	銘	宇多国房
21	太刀	銘	宇多国房
20	太刀	銘	宇多国光
19	太刀	銘	宇多国光
18	太刀	銘	伝古入道国光
17	太刀	銘	宇多国光
16	太刀	銘	宇多国光
15	太刀	銘	宇多国光
14	太刀	銘	宇多国光
13	太刀	銘	宇多国光
12	太刀	銘	宇多国光
11	太刀	銘	宇多国光
10	太刀	銘	宇多国光
9	太刀	銘	宇多国光
8	太刀	銘	宇多国光
7	太刀	銘	宇多国光
6	太刀	銘	宇多国光
5	太刀	銘	宇多国光
4	太刀	銘	宇多国光
3	太刀	銘	宇多国光
2	太刀	銘	宇多国光
1	太刀	銘	宇多国光

### ■岩国美術館 〒741-0081 山口県岩国市横山2-10-27 ☎0827-41-0506 http://www.iwakuni-art-museum.org/

### 維新150年記念特別展PartII「維新伝心展」

維新150年を記念し、岩国美術館では、多くの逸材を輩出した松下村塾の塾生たちの遺品を多数展示しています。激動の時代を生きた志士たちの足跡をぜひご覧ください。

会期：6月3日(日)～8月31日(金) 期間中休館なし



### ■致道博物館 〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199 https://www.chido.jp/

### 明治維新150年 西郷隆盛と庄内

慶応4年(明治元年・1868)、庄内藩は旧幕府方として戊辰戦争を戦いました。降伏に際しては厳しい処罰を覚悟していましたが、処置は意外にも寛大なものでした。指示したのが西郷隆盛であったことを知った旧庄内藩主・酒井忠篤や旧庄内藩士らは、明治3年以降、何度も鹿児島へ訪れては西郷の教えを受けます。同10年に西南戦争が勃発すると、西郷は「敗軍の将」としてその生涯を閉じます。

しかし、22年の大赦により官位が戻されると、旧庄内藩士たちは、生前に西郷隆盛から受けた教えや考え方を「南洲翁遺訓」としてまとめ、全国に頒布しました。

本展では、庄内で繰り広げられた戊辰戦争の経過を辿り、西郷隆盛と庄内の人々との間に築かれた強い結びつきについて、古文書や歴史資料、西郷隆盛の遺墨などから解き明かします。

なお、本館と本間美術館・本間家旧本邸連携企画「庄内でめぐる幕末・明治」三館参観券を販売します。通常2,300円を1,700円にて。500枚限定。会期：7月28日(土)～9月5日(水) 会期中無休



### ■大阪歴史博物館 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728

### 明治維新150年 NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」

明治維新のヒーロー・西郷隆盛には、肖像写真が1枚も残っておらず、その生涯は謎に満ちています。薩摩国の下級藩士の家に生まれた西郷隆盛(小吉、吉之助)は、両親を早くに亡くし、家計を補うため役人の補佐として働きます。やがて薩摩藩主の島津齊彬に目を留められた西郷は、齊彬の密命を担い江戸へ京へと奔走し、薩摩のキーパーソンとなっていきます。多感な青年期を経て、3度の結婚、2度の島流し。極貧の下級武士にすぎなかった素朴な男は、勝海舟、坂本龍馬ら盟友と出会い、揺るぎなき「革命家」へと覚醒し、徳川幕府を転覆させます。類まれな「勇気と実行力」で明治維新を成し遂げた西郷ですが、最後は明治新政府と闘い、命を散らすこととなります。

この展覧会では、NHK大河ドラマ「西郷どん」と連動し、西郷隆盛ゆかりの品や、同時代の歴史資料などを紹介、西郷の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにします。

会期：7月28日(土)～9月17日(月・祝) 火曜休館、ただし8月14日(火)は開館



### ■本間美術館 〒998-0024 山形県酒田市御成町7-7 ☎0234-24-4311 http://www.homma-museum.or.jp/

### 武士の装いとたしなみ

戦乱の時代、主従関係を結び、自己の家や土地を守るために命がけで戦った武士。彼らが身に着けていた甲冑や刀剣、刀装具などの装いには、彼らの美意識や祈りを感じられるものがあります。また、武士の中には、絵画や茶の湯をたしなみとし、刀を筆に持ち替えて画家として活躍したり、茶道具を蒐集する者もいました。天下泰平の世となった江戸時代には、武士たちによって趣味・娯楽

としての釣り文化が成立し、庄内藩では心身の鍛錬の手段として奨励され、多くの魚拓が作られています。本展では、昨年里帰りした名刀《太刀 銘月山作》(酒田市指定文化財)をはじめとする武士の装いとたしなみとともに、武士が描かれた絵巻や屏風をご紹介します。武士の実像に迫りたいと思います。会期：6月8日(金)～7月24日(火) 会期中無休



刀 劍 界

平成30年7月15日発行(隔月刊)

平成30年(2018)盛夏 暑中お見舞い申し上げます

掲載は申し込み順です

刀剣・小道具・鎧 刀剣杉田
代表 杉田 侑司
豊島区池袋2-49-15
TEL 03-3398-0114
FAX 03-3398-0114
Eメール info@token-net.com

(株)日本刀剣
伊波 賢一
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-18-1
TEL 03-3434-4321

飯田高遠堂
代表取締役 飯田 慶雄
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3395-1331
URL http://www.itanokendo.com

株式会社 舟山堂
稲留 修一
東京都千代田区内神田2-4-13 石垣ビルB1
TEL/FAX 03-5297-8144

銀座長州屋
東京都中央区銀座3-10-4

株式会社 真玄堂
〒101-0004
東京都千代田区鍛冶町1-7-17
TEL 03-3225-7844
FAX 03-3225-1141
Eメール info@samuragallery.com

銀座 盛光堂
齋藤 恒
東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル
TEL 03-3569-2251(代)
URL http://www.ginzaseikodo.com

つるぎの屋
冥賀 吉典
冥賀 亮典
東京都北区西ヶ原4-35-11
TEL 03-3357-1175
FAX 03-3357-8419

やしま
齋藤 雅久
齋藤 隆久
東京都西東京市柳沢6-18-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

拵合せ致します
日本刀鞘師 水野 美行
〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町6-1
TEL 03-3335-3188

札幌 横山美術
横山 忠司
〒060-0053
北海道札幌市中央区南三条東1-6
TEL 011-251-1765
FAX 011-251-1788

刀剣研師 白木 良彦
〒135-0045
東京都江東区古石場1-2-17
TEL 03-3643-3228

株式会社 刀剣柴田
柴田 光隆
〒104-0061
東京都中央区銀座5-6-8
TEL 03-3573-2801
FAX 03-3573-2804
URL http://www.tokenshibata.co.jp

銀座誠友堂
中央区銀座5-1-1 銀座ファイブ2階
TEL 03-3558-8001
URL http://www.seiyudo.com

浅草観音裏
美術・骨董・書画・工芸・刀剣・鎧
(株)晴雅堂清水
TEL 111-0032 台東区浅草2-30-11
TEL/FAX 03-3842-1377

株式会社 美術刀剣松本
松本 富夫
松本 義行
千葉県野田市清水1-19-11
TEL 04-7122-1122
Eメール info@token-anatsumoto.jp

武家文化の美と心
刀剣ギャラリー 樹林
代表 森野 幸男
〒803-0812
北九州市小倉北区室町2-2-15
TEL/FAX 093-3561-0449

美術刀剣
勝武堂
東京都中野区本町4-45-10
TEL 03-3381-3071
URL http://www.shoubudo.or.jp

美術刀剣研処 世田谷文永洞
美術刀剣研師 塩川 二郎
〒154-0016
東京都世田谷区弦巻5-16-17
TEL 03-3439-5061
URL http://seitagayabunedo.com/ja/top\_ja/

研誠堂
石塚 孝夫
〒113-0034
文京区湯島1-2-11
TEL 080-5473-0055

刀剣・新古美術品
株式会社 宝古堂美術
代表取締役 山田 雄一郎
東京都目黒区上目黒1-1-6
TEL 03-3792-0008

川越 優古堂
三浦 優子
埼玉県川越市新宿町1-9-13
TEL 049-249-0700
FAX 049-249-0702

籓谷 大輔
東京都墨田区横網1-11-4
TEL 03-6456-1344

毎月20日開催
西日本甲冑交換会
出品随時受付中
岡山県岡山市北区柳町1-4-18 2F
TEL 03-5350-8513
携帯 090-3331-1979
日本刀籓谷 籓谷 大輔

美術刀剣・刀装具等の売買、加工承ります
株式会社コレクション情報
代表取締役社長 村上 和比子
岐阜県岐阜市西部本郷1-49
TEL 058-274-1960
URL http://www.samurai-nippon.net

刀剣・古美術 宗亨庵
村中 亨
富山県高岡市江尻1-23-5-3
TEL 0766-281-2220
FAX 0766-281-2217

刀剣・古美術・古書画 (株) 日宝
代表取締役 田澤 二郎
〒160-8321
東京都新宿区西新宿1-11-4
京王百貨店新宿店6階 刀剣サロン
TEL 03-5532-1530(直通)

刀剣美術 静心堂
芦澤 一幸
芦澤 淳
〒272-0826
千葉県市川市真間2-1-26
TEL/FAX 047-321-1039

刀剣・小道具・甲冑、売買、工作及相談承ります。
株式会社 むさし屋
代表取締役 猿田 慎男
〒590-0025
大阪府堺市堺区向陵東町1-2-19
TEL 072-225-1860
FAX 072-257-2885
URL http://www.musashiya.co.jp

赤荻刀剣店
赤荻 稔
茨城県下妻市下妻乙1-72-5
TEL 0296-444-2643

永和堂
朝倉 万幸
朝倉 忠史
長野県長野市南町1-1-36
TEL 026-228-10001

甲冑刀剣・刀装具 福隆美術工芸
網取 譲一
東京都中央区銀座2-11-4
TEL 03-3541-8209

株式会社 金丸刀剣店
金丸 一三
東京都大田区東雪谷2-28-10
TEL 03-3728-3323

奈良県無形文化財保持者
月山 貞利
〒633-0073
奈良県桜井市大字茅原228-18
TEL 0744-431-7330
記念館 421-3230

刀剣・書画・骨董 株式会社 和敬堂
土肥 富康
新潟県長岡市市町1-2-16
TEL 0255-331-8511
FAX 0255-331-8511
URL http://www.wakeidou.com

刀剣の店 玉山名史刀
玉山 祐司・真敏
岡山市北区田町1-11-1
TEL/FAX 086-227-4188
URL http://www.t-touken.com

服部美術店
東京都中央区日本橋3-15-12・2F
TEL 03-3274-5170

株式会社 山城屋
代表取締役 嶋田 伸夫
東京都豊島区巢鴨1-21-8
TEL 03-3942-2701

(株)丸英刀剣
銀座 丸英
栃木県小山市乙女3-17-30
東京都中央区銀座7-13-22 友野ビル1階
URL https://maruhidenken.com

もちだ美術
持田 具宏
さいたま市中央区上落合1-9-4 447
TEL 048-855-4792

刀剣鑑定書発行業務
一般社団法人 倉敷刀剣美術館
代表理事 佐藤 均
〒710-1101
岡山県倉敷市茶屋町17-3
TEL 086-420-0066

銀座日本刀ミュージアム 泰文堂
川島 貴敏
〒104-0061
東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階
TEL 03-3228-9136
FAX 03-3228-9136
Eメール tabundo@teicho.com.jp
URL https://www.tabundo.com

木村美術刀剣店
木村 義治
群馬県高崎市萩原町484-110
TEL 027-352-1159
FAX 027-352-1159

(株)霜剣堂
黒川 精吉
〒150-0001
渋谷区神宮前6-28-1
TEL 03-3499-8080

日本刀の 店主 小暮 昇一
江州屋
〒529-1315
滋賀県愛知郡愛知町香掛80-11
TEL 0749-42-5106
携帯 090-3162-7641
URL http://www.sosuke-shimomura.com

刀剣鞘師・御拵一式・修理・白鞘
廣井 章久
〒170-0012
東京都豊島区上池袋1-13-12
TEL 03-3917-1842

刀剣古銭切手古美術品 売買
(株)城南堂古美術店
代表取締役 田中 勝憲
東京都目黒区上目黒4-31-10
TEL 03-3710-6776
携帯 090-3320-8196

大和美術刀剣
大西 康一
さいたま市南区大谷口527-7
TEL 048-875-2122